

2023年度

第24回いばらき児童生徒地図作品展

【最優秀賞】

(作品名) やっぱりキケン!
 (学校名) 私立茗溪学園中学校
 (学年・氏名) 2年 元木 皇太

やっぱりキケン!

茗溪学園中学校
 2年F組 元木皇太

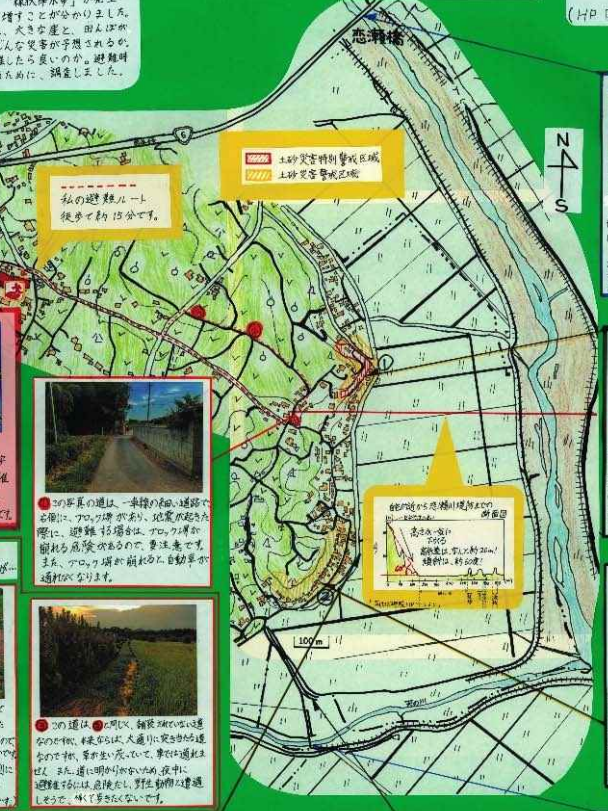
動機
 今年の茗溪学園の文化祭の日(6月2日)に記録的な大雨が降り、私の通学路に大きな被害がもたらされ、避難先がなくなりました。初めての経験で、迂回しながらの帰宅は大変で、とても怖かったです。私の家は、比較的高い所にありますが、水害とは無縁だと思っていました。しかし、買建より旧にする、「現状保水率」が発生すると、水害の危険度が著しく増すことがわかりました。私が住んでいる所の近くには、大きな崖と、田んぼがあるので、大雨が降ったら、どんな災害が予想されるのか。どこに、どのように避難したら良いのか。避難時の安全な場所、避難経路を探るために、調査しました。

目的
 災害危険区域の場所を調べ、どんな災害が起こると考えられるか、また、その際の安全な避難経路を確認する。

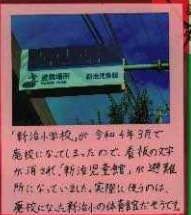
調査方法
 ①資料をもとに作成する
 ②現地調査
 ③地形図と現地調査結果を比較する

基本情報
 面積…1763155.797㎡
 人口…436人
 世帯数…115世帯
 (H19 国勢調査より「中等別標準人口」)

私の自宅付近の地図



避難場所



「新治小学校」が、今年4年3年で廃校になりましたので、学校の校舎が潰れて、新治児童館が、水避難所になっています。実際に使っている。廃校は、土砂災害の危険性が少ない。

①のブロックが崩れたら、……のルートで避難するが……

②の道は、……のルートで避難するが……

③の道は、……のルートで避難するが……



①の道は、……のルートで避難するが……

②の道は、……のルートで避難するが……

③の道は、……のルートで避難するが……

考察

この地域を調査して、私が住んでいる所は、川から約200m低い所にあることがわかりました。しかし、自宅のすぐそばには、土砂災害特別警戒区域があることがわかり、大層な危険が迫っていることがわかりました。土砂災害が起きると、やはり、危険なことになると思います。今後、調査の結果を参考に、避難先や避難経路を再確認したいと思います。また、この調査で、川が氾濫すると、田んぼが水没すると、農産物の被害が大きいことがわかりました。また、田んぼの水が溢れると、周辺の道路が水没すると、交通が止まると、大変なことになると思います。



この写真は、調査で発見した、急な斜面の地形図です。この斜面は、土砂災害特別警戒区域に指定されています。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。



志瀬川と川沿いの斜面は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面は、土砂災害特別警戒区域に指定されています。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。



志瀬川と川沿いの斜面は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面は、土砂災害特別警戒区域に指定されています。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。



志瀬川から志瀬川へは、急な斜面があります。大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面は、土砂災害特別警戒区域に指定されています。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。



この写真は、私の家です。この家は、急な斜面にあります。大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面は、土砂災害特別警戒区域に指定されています。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。



この写真は、私の家です。この家は、急な斜面にあります。大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面は、土砂災害特別警戒区域に指定されています。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。この斜面の形状は、大雨が降ると、土砂が崩れやすくなります。

(作成者による紹介)

私は、水害とは無縁の立地に住んでいると思っていましたが、6月2日の記録的な大雨により、通学路が水害に遭い、大変な思いをした経験から、大雨災害時、自分の家は大丈夫か、どこに、どのように避難したら良いのか、心配になって調べることにしました。調査によって、身近に危険区域があることがわかり、驚きました。でも、安全な避難ルートを確認できたので、いざという時に、冷静に避難できそうで、安心しました。

(審査員講評)

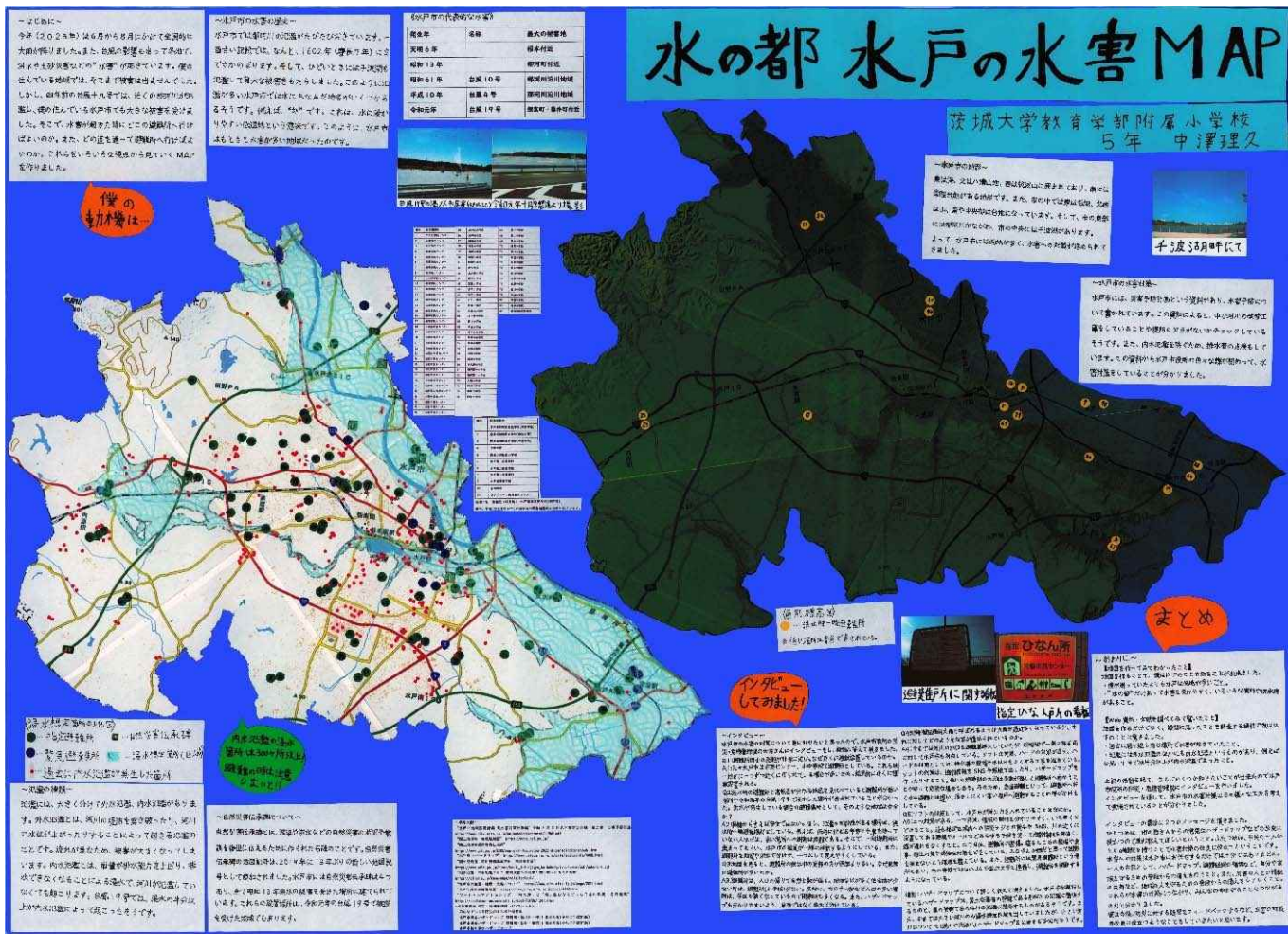
タイトルと大縮尺の地図が、何の地図だろう、とまず目を引く作品です。身近に起きた記録的豪雨による河川氾濫をきっかけに、地域の災害リスクを文献と丁寧な現地調査で調べてまとめています。等高線のある大縮尺の地形図を丁寧にトレースして調査地点を示し、地図の周りに調査の結果や現地で撮影した写真を配し、地形と災害リスクの関係が分かるように工夫されています。現地で災害危険区域に指定されている場所が「やっぱり危険」であることを確認するとともに、じっくり観察することによって、未舗装道路やブロック塀など、資料や地図ではわからない危険を自ら発見することができています。

(学生講評)

「やっぱりキケン!」というタイトルがまずいいですね。自分が住んでいる地域は大丈夫!と思いがちですが、やっぱり、どんな地域にも危険は潜んでいるということですね。実際にかすみがうら市を歩いて回る地域調査を行い、危険なところのリストアップと写真撮影を行って、1つの地図にまとめました。大変だったと思いますが、この地図を見れば、災害時にどこに気を付ければよいのか、どのように行動すればよいかが一目瞭然ですね。ぜひ、ここに住む地域の人たちと共有したい地図です。



【優秀賞】



(作品名) 水の都水戸の水害MAP
 国立大学法人
 (学校名) 茨城大学教育学部
 附属小学校
 (学年・氏名) 5年 中澤 理久

(作成者による紹介)

今年全国各地で洪水や土砂災害などの水害が起きました。そこで、水害への備えを色々な視点から見て2つの地図や和紙で表現したMAPを作りました。

私たち一人ひとりができることを考えたとき、まず市役所など地域が配布している情報に興味を持つこと、そしてそれを周囲の人と共有していくことが大切だと思い、この地図を作りました。この地図作りが、水害の対策としてみんなの命を守ることに少しでもつながれば嬉しいです。

(審査員講評)

水戸市の水害についての2枚の工夫された地図を主役に配した地図作品です。とくに避難場所と内水氾濫地点を示した地図は、大変な労作で、地域住民だけでなく、この学校に通う人、働く人にとっても役立つ、りっぱな水害マップです。さらに、自分の目でしっかり現地を観察して、写真も効果的に使われています。水害が、なぜおこりやすいかといった考察もしっかりなされています。地図にまとめることにとどまらず、それによって新たに生まれていくつもの疑問を市の担当者へのインタビューをもとに自分なりに解釈するなど、自分の課題として水害をとらえている点が高く評価できます。

(学生講評)

今年の全国的な大雨被害や台風の被害から水戸市の水害について調査し、まとめられている作品です。左側の地図には指定避難場所や緊急避難場所のリストにリンクしたシールが貼られており、水戸市に避難場所が多いことが一目でわかるようになっています。また、右の色別標高図にシールで貼られている「洪水時一時避難場所」や低地にこのような避難場所が設置されている理由については、市役所の方にインタビューをしたことでとても分かりやすくまとめられていました！



【優秀賞】

どうする？日立市の人口流出
 (作品名) ~若い世代を日立に
 引き込もう大作戦~
 (学校名) 茨城県立日立第一高等学校
 附属中学校部
 (学年・氏名) 1年 坏 怜央

(作成者による紹介)
 私は、小学校のときに、自分のルーツである祖父が勤務した日立鉱山周辺の小学校が廃校になった経緯を調べたことを契機に、日立市の人口動向に注目している。今回の調査の結果、日立市は日立製作所の発展とともに人口が増加してきたが、現在は若い世代を中心に人口流出が進んでいることがわかった。逆に県南のつくば市等4市町は、TX沿線という立地の良さから、都心のベッドタウンとして人口が急増していた。これらの調査から、日立市の人口増加に向けた対応策を考えて提案した。

坏家のファミリーヒストリーPart3

どうする？日立市の人口流出

~若い世代を日立に呼び込もう大作戦~

日立市の地域別転入・転出

日立市の地域別転入・転出

出典 令和元年住民基本台帳

茨城県市町村別人口増減率 (2021年)

茨城県市町村別人口増減率 (2021年)

出典 総務省 国勢調査

1. 調査の動機

日立市に生まれ、日立市で育ち、日立市に帰るという思いがあります。

2. 調査の目的

日立市の人口動向を調査し、その結果を元に若い世代の呼び込み策を提案することです。

3. 調査の方法

① 日立市の人口動向を調査する
 ② 茨城県内の人口動向を調査する
 ③ 日立市の人口動向を調査する

4. 調査の結果

日立市の人口動向を調査した結果、若い世代を中心に人口流出が進んでいることがわかりました。

5. 調査を総括して

調査の結果、日立市の人口動向は、日立製作所の発展とともに人口が増加してきたが、現在は若い世代を中心に人口流出が進んでいることがわかった。

6. 調査の今後

調査の結果、日立市の人口動向は、日立製作所の発展とともに人口が増加してきたが、現在は若い世代を中心に人口流出が進んでいることがわかった。

茨城県立日立第一高等学校附属中学校 1年 坏 怜央

4. 調査結果

5. 調査結果

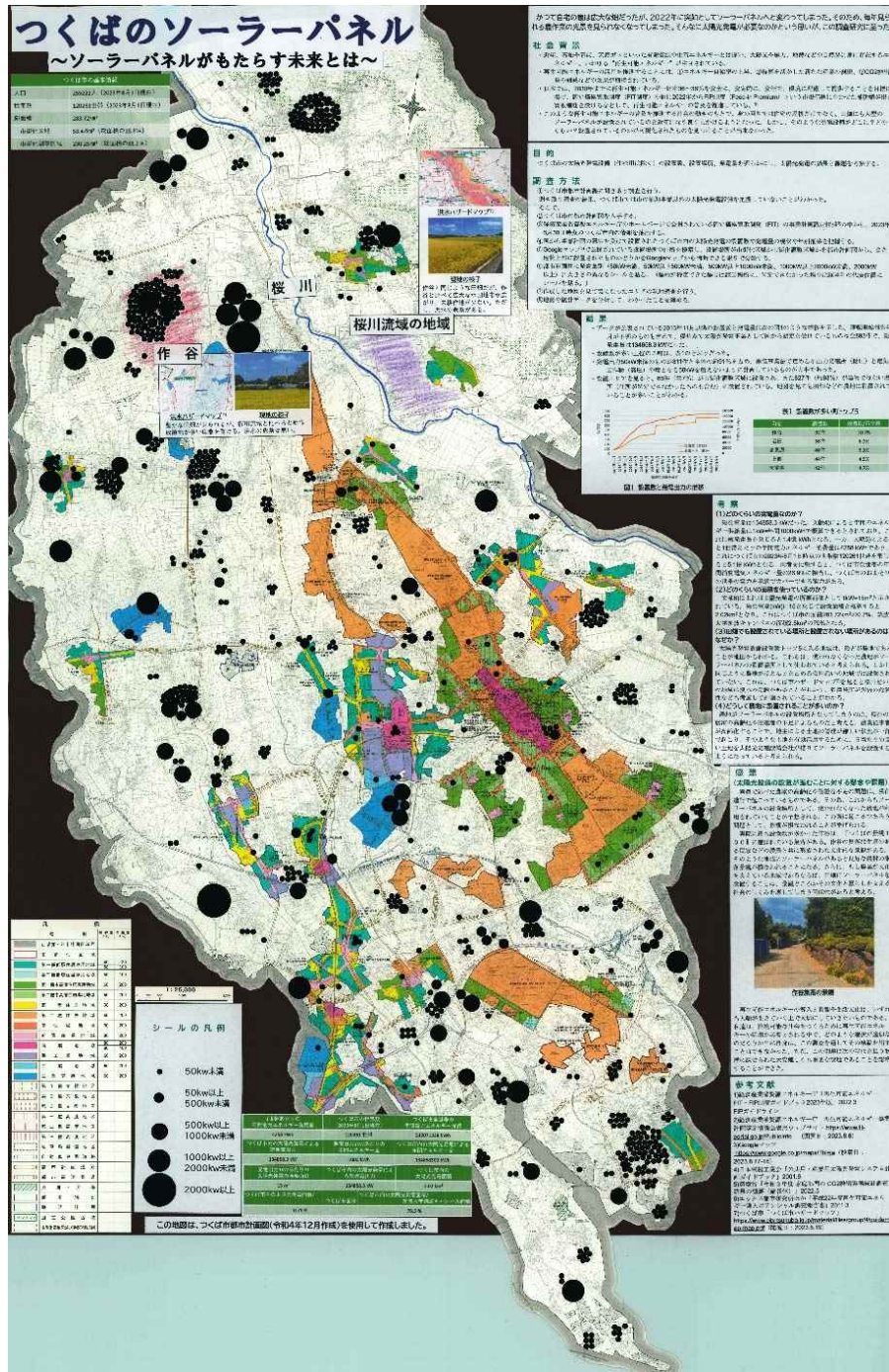
6. 調査結果

(審査員講評)
 小学生の時にいった、日立鉱山や日立市の盛衰及び人口の増減についての自由研究をまとめ直し、その成果をより多くの人に伝えたい、という思いから作成された継続研究の作品です。日立市だけでなく茨城県の人口増減率を調査しそれらと比較することで、市の現状と課題、その対応についての考えを深めることができている。さらに、自分自身でその対応策を提案している点が高く評価できます。研究は、自分自身の考えを持てることが最も大切なゴールです。日立市がよりよくなってほしいと願い、考察したことが様々な立場の人に向けて提案されている点が素晴らしく、この研究で生まれた市への愛情が、さらに大きく育つことを楽しみにしています。

(学生講評)
 日立市からどこに人口が流出しているのかを、地図で表現して可視化しています。また、日立市だけでなく茨城県の全市町村についても調査を行いました。ただ調べるだけでなく対応策を考えたのも見事です。日立市は、大学3年生の時にゼミの巡検で行って以降、よく行きます。山と海に囲まれた、とても街並みが好きな場所です。ショッピングセンターは駅前にヒタチエができましたね。対応策を実現させ日立がより発展すると良いですね。



【優秀賞】

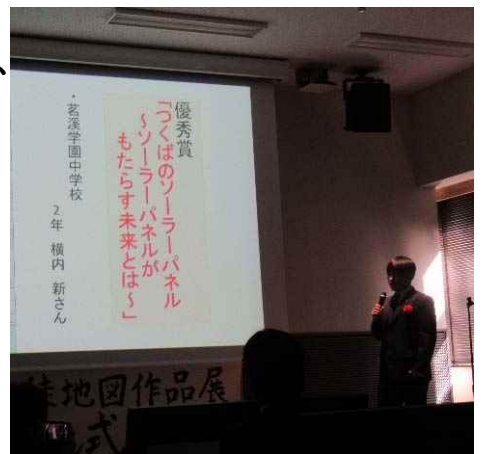


(作品名) つくばのソーラーパネル
 ～ソーラーパネルがもたらす未来とは～
(学校名) 私立茗溪学園中学校
(学年・氏名) 1年 横内 新

(作成者による紹介)
 かつて自宅の裏は広大な畑であったが、2022年に突如ソーラーパネルへと変わり、農地を変えてでも太陽光発電が必要なのかと思い、調査研究に至った。市内の太陽光発電設置数、設置場所、発電量を明らかにし、効果と課題を考え、その結果で私は再生可能エネルギーの活用が必要とされる中、太陽光発電が進むことと、農地が現象することのバランスを考えると結論は出せないが、これは社会の課題として考える必要があると感じた。

(審査員講評)
 「ソーラーパネル」など再生可能エネルギーは、近年、化石エネルギーに変わるエネルギーとして注目されています。つくば市に多く点在するソーラーパネルについて、設置場所からみる社会状況に視点を向けるに至った動機は、身近に起きていることを考えさせられるとても興味深い作品です。
 作品は、「どのような土地に設置されているの？」と土地の状況も考察しながら期待効果などを丁寧に調べ、その重要性・必要性も十分に理解しながらも、「なぜ、その設置は農地なの？」と、ソーラーパネルの設置が進むことによる未来に待ち受けている重要な課題を、考えさせられます。

(学生講評)
 まず、一目見た時に、大きなつくば市の地図が目を引きまます。地図には、ソーラーパネルが設置されている場所にシールが丁寧に貼られており、つくば市内にいかん設置されているかがわかりやすく伝わってきます。また、調査の中で一貫してソーラーパネルに問題意識をもち、様々な調査を経て自分なりの考察を導き出している点も素晴らしいです。再生可能エネルギーの在り方について深く考えさせる作品となっています。



【優秀賞】

取手市周辺の水害対策マップ ～利根川の氾濫対策を中心として～

調査の動機
通っている学校で、学校の周りの土地利用や水害対策のフィールドワークを体験することができた。河川や堤防などでは、学校の周りの標高が低く、氾濫してきたらかなり重なりや樹木が折れてより内水氾濫がよく起きていることを知った。また、学校の裏には、ただ堤防があるだけでなく、様々な工夫がされていることに興味を持った。しかし、学校の近くを歩いただけでは、その工夫を実感しにくかったため、自宅までより広い範囲を巡って調べたことにした。その中で特に、河川周辺の地味な入るを体験することを大きな目的にした。また、堤防、溝、干草、堤防が壊れた水害が起きたら、利根川監視カメラの様子を調べてみたいと思った。そのような場所にはカメラが設置されているかを調べてみた。

氾濫危険エリアについて
取手市の利根川氾濫ハザードマップでは、標高の高い地域での浸水被害が大きいことがわかる。取手市の西側は、堤防より高い土地になっていて浸水被害が少ないが、例外的に堤防より低く、利根川の水位が堤防を超える。東側の広い範囲で浸水被害が想定されている。そのため、様々な対策がなされている。堤防の強化や、護岸の土砂の除去などを現在も行っているという情報が提供されている。



①排水樋門とポンプ場、②堤防強化対策工事の実施箇所、③国土交通省の取手出張所、④河川監視カメラ

排水樋門について
堤防の上、市街から利根川へと水が流れる場所に、排水樋門が設置されている(地盤上に建設して示している)。普段は堤防が閉まっていて、市内の生活排水や雨水が利根川に流れるようになっているが、利根川の水位が上がって洪水の危険が迫っているときは樋門を閉じると説明を受けた。

稲戸井調節池について
江戸川学園取手の前に稲戸井調節池の看板が設置されている。利根川に沿った直線状の堤防ではなく、人の住んでいない低い土地を囲む堤防を設置することで、利根川の水位が上がったときに水を溜めることができる。学校の裏から見た印象では、利根川の水位を下げられるほど高くなるように思っていたが、調節池の堤防を自転車に乗ると、いつまでも水が溜まらなくていい広い平坦な土地だということが分かった。さらに、干草現場には、稲戸井調節池のすぐそばの堤防がある稲戸井調節池も併せているので、これらの調節池のおかげで、下流の水の流れを遅らせるのに非常に効果的だ。

河川監視カメラについて
利根川(河川)には、複数の場所に河川監視カメラが設置されている(地図上に青の点で示している)。河川監視カメラの映像はインターネット上で見る事ができるため、現地にいかなくても、ほぼリアルタイムで河川の水位や土砂の堆積状況を把握することができる。排水樋門のある場所には河川監視カメラが設置されていること分かった。この映像を見ることができると考えた。また、排水樋門の他にも、江戸川学園取手高校の裏の堤防にも小さな河川監視カメラを付けた。この映像を見ることが、大雨のときに堤防の崩壊を防ぐのに役立っていること分かった。このように小型の監視カメラは、住宅が密集する場所にも設置した方がよいと思う。

内水氾濫について
大きな河川の氾濫を防ぐことができても、別川に排出できない水が建設の上にある内水氾濫という問題もあることをフィールドワーク中に教えてもらった。特に学校の近くの五差路で何回も起きていることにも聞いた。取手市のホームページを見ると、取手市の内水氾濫の実情を詳しく知ることができた。このホームページを見ると、標高の高さに関係なく起きていることが分かる。特に市街地の住宅地で起きているように見える。これはアスファルトが多い場所が水が溜まりやすいことが原因だと考えた。内水氾濫は、利根川のような大規模の氾濫とは違って、急に起るほどの被害をもたらすことが多く、排水・排水により、生活が不自由になることが多い。しかも、堤防が壊れたら、水が溢れ出して大変なことになる。

稲戸井調節池の堤防にある大きな排水樋門
排水樋門が開いている様子：利根川へ水が流れている

越流堤について
調節池を囲む堤防の一部だけ高さを低くすることで、その高さは堤防の水位が溢したら調節池に水が流れ込むように工夫されている。高さを低くした分、予想より高い水位があり、調節池の堤防の高さを感ずることができた。

排水樋門の上面に付いている河川監視カメラ
江戸川学園取手の裏の堤防の小型の河川監視カメラ

取手市の河川氾濫危険ハザードマップ

(審査員講評)

授業で地域のフィールドワークをしたことをきっかけに、あらためて学校周辺の地形状況を調査したり文献調査をしたりして、一帯の水害リスクと防災対策について表現しています。一枚で水害の種類や原因、対策まで学べる地図作品です。地形図やハザードマップの読図を丁寧にを行い、取手市の西側と東側の危険度を越水と浸水被害について理解をしたうえで、的確に地図上に表現しています。また、水害対策として排水樋門のことや河川監視カメラの位置情報などを綿密に現地でも調査しています。今後はマイタイムラインを作成し、「身近ないのちを守る防災対策」を継続してください。

(学生講評)

学校周辺のフィールドワークを行ったことで土地利用や水害対策に興味を持ち、さらに調査を行いまとめられている作品です。排水樋門や稲戸井調節池、越流堤など氾濫対策にはさまざまな方法があるのだと勉強になりました。監視カメラについては地図上にシールで位置が示されていて、川の様子を知るのに重要な役割を果たしていることがわかります。内水氾濫については今後、どのような地域でも考えていかないといけない課題かもしれませんね！

【優秀賞】

(作品名) 関東・東北豪雨の足跡
(学校名) 茨城県立古河中等教育学校
(学年・氏名) 1年 倉田 藍

(作成者による紹介)

この地図は、私の住む常総市玉村において、平成27年9月10日に発生した水害の足跡をたどる地図になります。作成時の巡検では、水害からの復活にはボランティアの方々や地元の方々の協力により今日の生活があることや、水害の恐ろしさを実感しました。

近年では、災害が頻繁に発生し、かつ被害も大きくなっていることが増えてきています。この作品を通じて、災害の恐ろしさや、水害からの人々の努力、また復活に至るまでの足跡を実感してもらえとうれしいです。最後になりますが、水害からの復活に関わってくれた方々に感謝の気持ちも込めて作った地図でもあります。そのような気持ちも持って見てくれると幸いです。



(審査員講評)

作成者が幼い頃に体験された過去の大災害の出来事とその記録を振り返り、丁寧な現地調査と聞き取り調査を行い、地図と資料にまとめています。常総市では多くの方が被害にあいましたが、ボランティアの働きを含め自助・共助・公助で現在の姿まで、様々な苦労をしつつも復旧・復興してきた様子がわかります。市が水害の記録を後世に残すために、浸水地域の電柱に浸水深を示す赤い線と標識を表示した電柱18か所もの現地調査を行っています。各地の浸水深を自分の背丈と比較することで身をもって追体験し、写真を効果的に配して結果をまとめて臨場感がある作品になっています。

(学生講評)

平成27年の豪雨による水害の被害を、通り沿いや川沿いなど、様々な場所でまとめました。どの写真も、同じような感じで倉田さんの身長と水が来たところの高さを比較しているのので、被害の大きさがとてもイメージしやすいですね。この地図をぜひ地域の人にも見ていただき、危険な場所を意識していただけるとよいですね。今後さらに調べていったら、また危険なところが出てくるかもしれませんね。

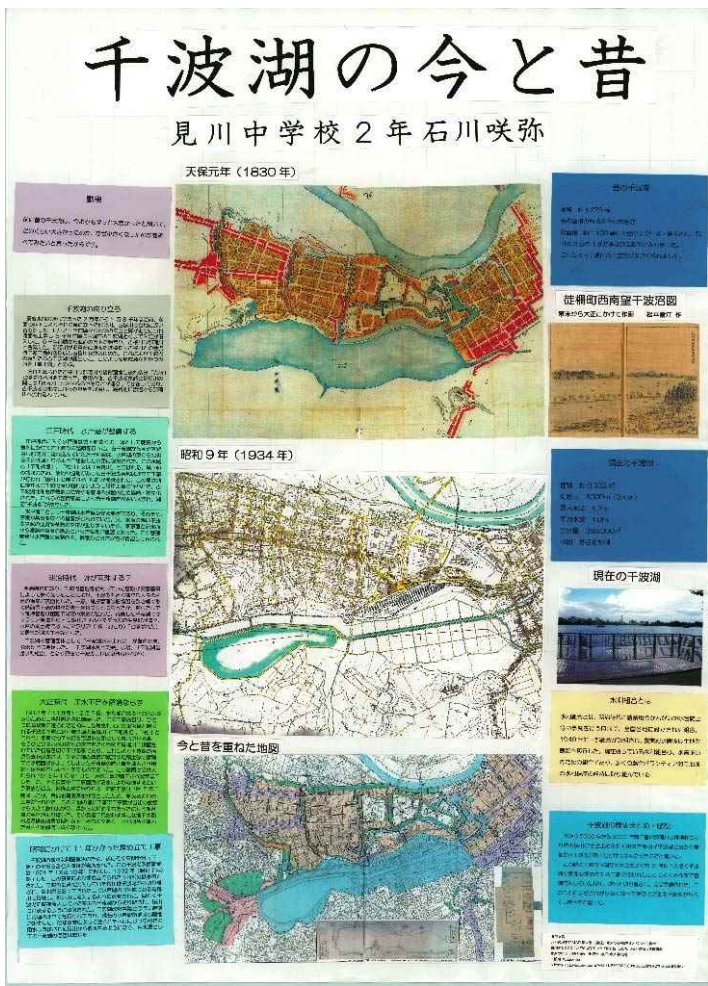


(作品名) 金砂郷小周辺はお宝いっぱい!
 (学校名) 常陸太田市立金砂郷小学校
 (学年・氏名) 5年 井坂 士、小幡 るい、吉成 桜華

(作品名) 穴塚の里山ナラ枯れひがいがいマップパート2
 (学校名) 私立開智望小学校
 (学年・氏名) 3年 小磯 道允

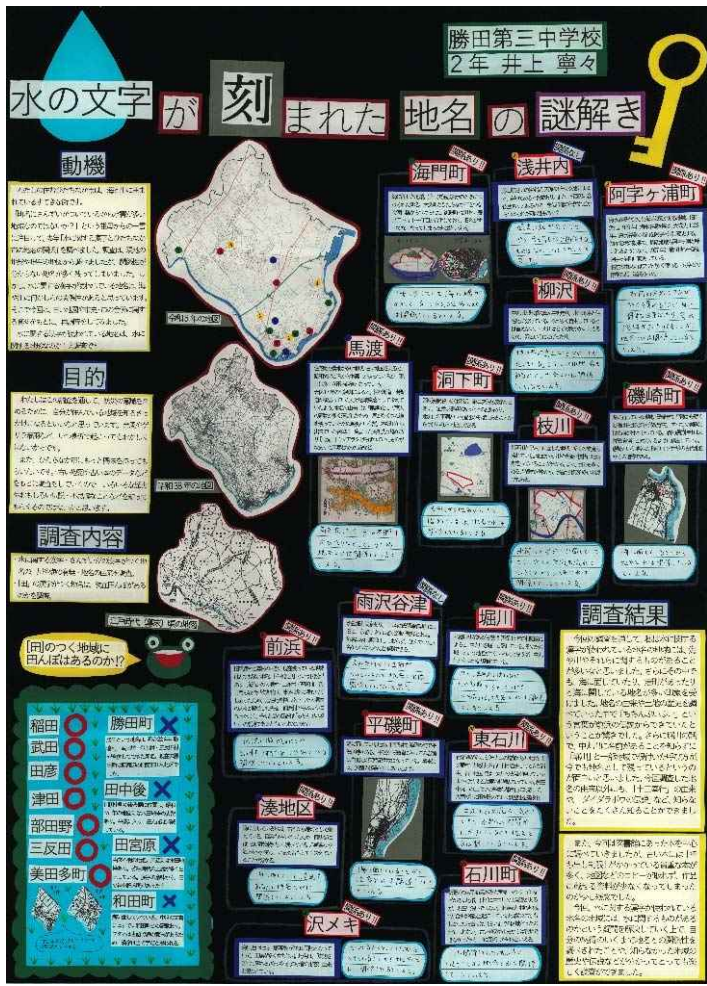
(学生講評)
 金砂郷小の周りにある「お宝」を一枚の地図にきれいにまとめた作品です。金砂郷小周辺にこれほど多くの史跡があることは驚きですが、鮮新世から始まり様々な時代のものがあることはさらに驚きです。また、現地調査を丁寧に行ったことで、写真を多く使いながらそのスポットがどのような場所であるのかがわかりやすくまとめられており、魅力が伝わってきます。この地図をもとに金砂郷を歩いてみたいくなりました!

(学生講評)
 ナラ枯れという言葉は大学生でも、あまり聞いたことのない人が多いと思います。小学校2年生の頃からナラ枯れ対策のボランティアをしているということで、すごいですね。この地図を見て、ナラ枯れとは何なのか、どういう場所に被害が多いのか、どのくらい被害が拡大しているのかなどがよくわかりました。きっと、他の地域でもナラ枯れはあると思うので、自分の住んでいる地域で調べたいくなりました。



(作品名) 千波湖の今と昔
 (学校名) 水戸市立見川中学校
 (学年・氏名) 2年 石川 咲弥

(学生講評)
 千波湖の歴史の変遷が一目でわかるようにきれいにまとめられた作品です。3つの時代の異なる地図を添付することで、千波湖の大きさや川の流路の変更などを比較して理解することができるようになっていきます。また、時代ごとの千波湖の解説も明快でわかりやすく、地図と合わせて読むことで非常に理解しやすくなっている点も素晴らしいです。この作品をもとに、千波湖の今後についても考えていきたいですね。



(作品名) 水の文字が刻まれた地名の謎解き
 (学校名) ひたちなか市立勝田第三中学校
 (学年・氏名) 2年 井上 寧々

(学生講評)
 祖母の一言がきっかけで水の文字と地名の関係についてまとめられている作品です。古地図や市史などの資料をもとに去年よりさらに内容がパワーアップしています。平成と昭和の地図の比較をしていたり、古いものでは天保期の地図も作品に使われていたりしてワクワク感があります。さらに、「田」のつく地域についても触れていて、次回の調査にも繋げていくことができそうですね！



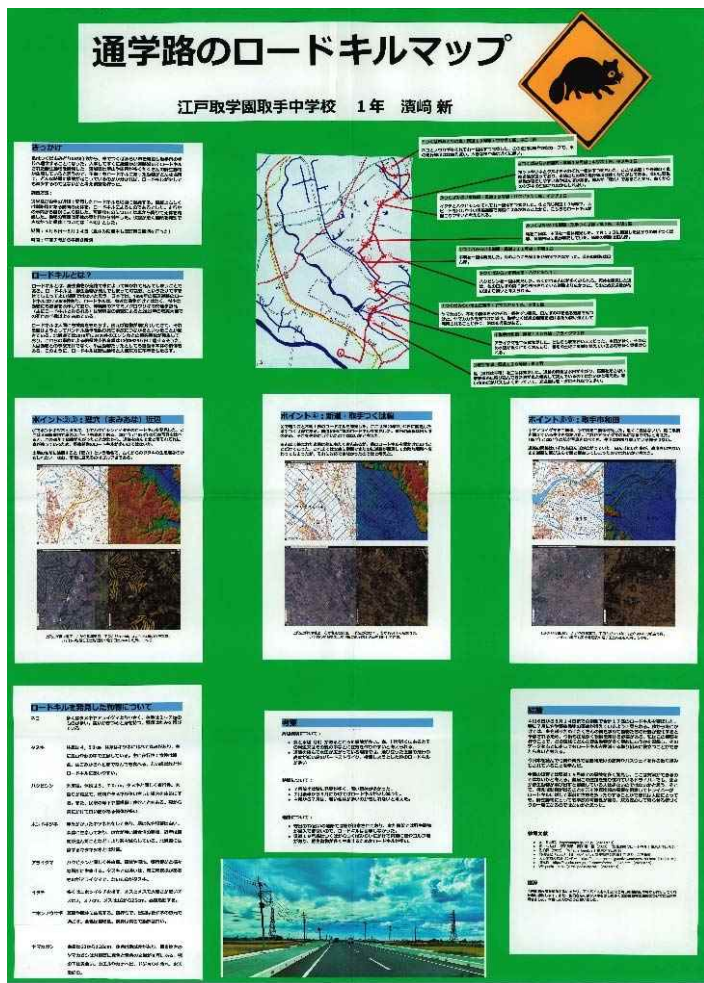
(作品名) 日立一中生必見!災害時お助けマップ
 (学校名) 茨城県立日立第一高等学校附属中学校
 (学年・氏名) 1年 今井 連人

(学生講評)
 まず、この作品を作ったコンセプトがいざという時に自分だけが使えるものではなく、日立一中生みんなが使えるものにするということが素晴らしいです。日立駅のみならず、水戸駅以北の駅周辺を丁寧に調べ上げ、災害時に多くの人々が実際に活用できる仕上がりになっています。また、非常用の設備がなくなっていることもあり、こまめに確認する必要があるという指摘も的確で、見る人の危機意識をより高める作品になっています。



(作品名) ドローン配達による安全経路調査
 (学校名) 私立茗溪学園中学校
 (学年・氏名) 2年 菅沼 芽生

(学生講評)
 ドローンが荷物を運ぶニュースを見たことをきっかけに、自分の身近な地域ではそれができるのかを調査しまとめられている作品です。大きなオリジナルの地図には人口集中地区や線路、道路などドローンを飛ばす上で障害となりそうな場所が色分けして示されています。近い将来、日本でもドローン配達などが行われていくことを想定すると、今回の調査の視点はとても重要になっていきますね！



(作品名) 通学路のロードキルマップ
 (学校名) 私立江戸川学園取手中学校
 (学年・氏名) 1年 濱崎 新



(作品名) 安全に避難するためのMYルートIn結城市
 (学校名) 茨城県立古河中等教育学校
 (学年・氏名) 1年 上野 藍子

(学生講評)
 ロードキルという言葉は大学生の私はあまり聞いたことがありませんでしたが、小動物が車に轢かれてしまうということは、私も車を運転しているのでよく目にする出来事です。どの道路でもよく起きるというわけではなく、道路によって、ロードキルが多い場所とそうでない場所があるのですね。作品の中でも述べられていたとおり、人間にも動物にも不幸をもたらすロードキル。何とか件数を減らせるよう、道路整備や看板整備などが充実するとよいですね

(学生講評)
 近年の地震や洪水の自然災害の経験から安全に避難するために地図やハザードマップを見て調査し、「MYルート」としてまとめられている作品です。万が一に備えて、国土地理院のベースマップやハザードマップ、NTTの公衆電話の位置に関するマップなど、さまざまな視点から自然災害が発生した時の避難経路を考えられています。また、食料庫の位置についても触れているので、いざという時にもこの地図が生きてきそうですね！

【佳作】



(作品名) 水戸市の119消防救急MAP

(学校名) 国立大学法人
茨城大学教育学部附属小学校

(学年・氏名) 2年 甲野藤 優文

(学生講評)

他地域から来た消防車や救急車が自分の家の近くを通っていることに疑問を感じ、インタビューを行い消防署や出張所について詳しくまとめられている作品です。水戸市内の救急や消防について色分けやシールを貼って工夫して作成されています。また、消防車のシールにいくつかの種類があってどれがどんな名前の車両なのか気になりました。消火栓や防火水そう、AEDの設置場所についても触れているのでこの地図を見て万が一の時に備えることができますね！



(作品名) 東海村で感じる百人一首わーんど

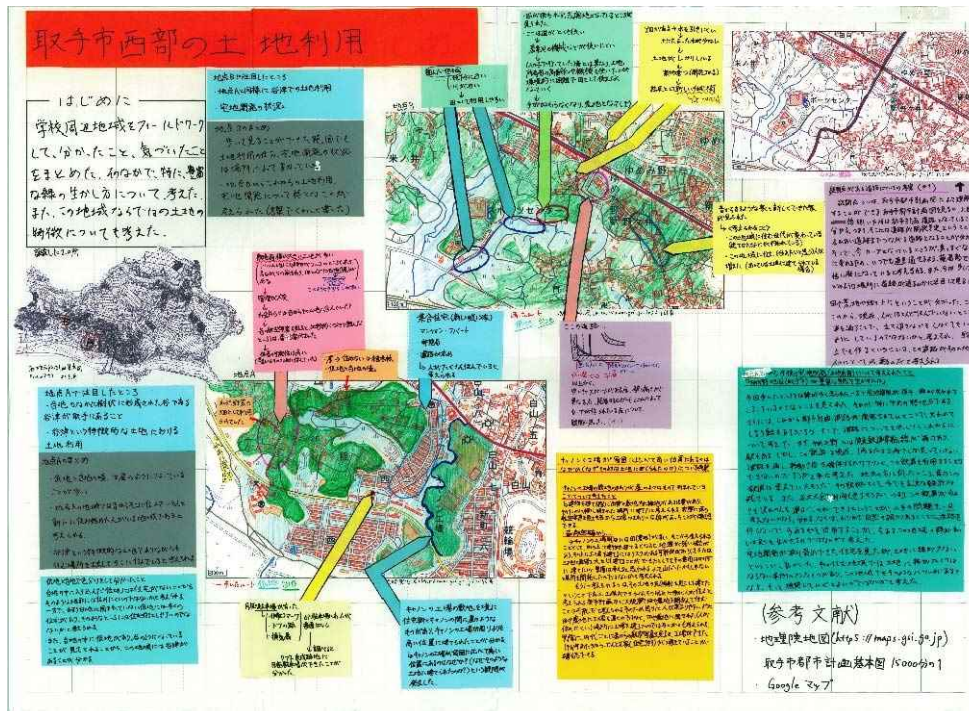
(学校名) 東海村立東海南中学校

(学年・氏名) 1年 塙 千奈

(学生講評)

私も、小学生の時に百人一首を覚え、五色百人一首のカルタに親しんできました。そのため、とても懐かしいテーマだなと感じました。まさか、地図と百人一首が結び付くとは思いませんでした！その発想に脱帽です。地図に添えられた歌を読むと、当時を思い出します。東海村の場所と百人一首が結び付いていますが、こんな身近な地域にでも、百人一首で描かれた情景がたくさんあるのですね。私の住む笠間市でも、百人一首に合う場所を見つけてみます！！

【佳作】



(作品名) 取手市西部の土地利用
(学校名) 私立江戸川学園取手中学校
(学年・氏名) 3年 山下 麗奈

(学生講評)
取手市西部の土地利用について、様々な面から鋭く考察した作品です。実際に歩きながら様々な点に着目し、非常に示唆に富んだ考察を導き出しています。考察の内容はもちろんのこと、まとめ方もコンパクトかつきれいで見やすく、素晴らしいです。緑を生かした街づくりをしてほしい、そんな思いがこの作品を通して切実に伝わってきます。私たちも今一度街づくりの在り方について考えてみるべきですね。

参考文献

- 地理院地図 (<https://maps.gsi.jp>)
- 取手市都市計画基本図 [Kaoosjin]
- Google マップ



(作品名)
「茨城県下の聖徳太子信仰」

(学校名)
土浦市立右舂小学校

(学年 氏名)
4年 清水 優太



(作品名)
「あなたのまわりにも都市伝説」

(学校名)
阿見町立阿見小学校

(学年 氏名)
6年 榎本 真子



(作品名)
「こうそくどうろのトンネル」

(学校名)
つくば市立香取台小学校

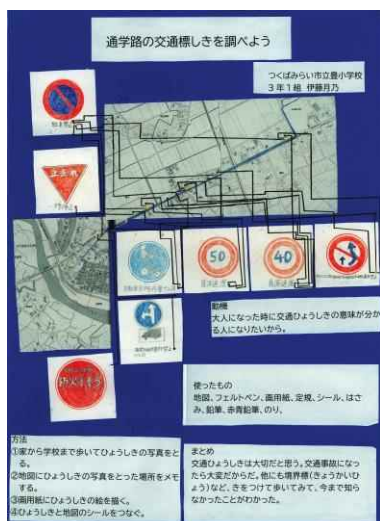
(学年 氏名)
1年 内藤 央晴



(作品名)
「学校周辺のいろいろなマーク」

(学校名)
茨城大学教育学部附属小学校

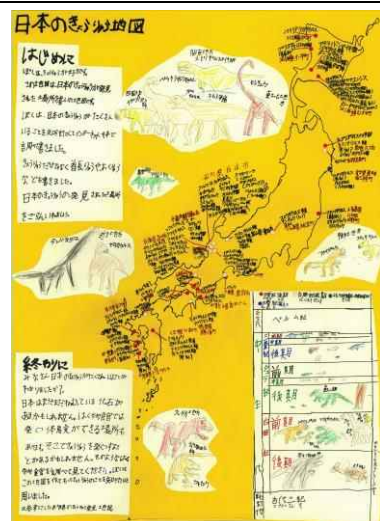
(学年 氏名)
3年 小林 良輔、福田 篤人



(作品名)
「通学路の交通標識を調べよう」

(学校名)
つくばみらい市立豊小学校

(学年 氏名)
3年 伊藤 月乃



(作品名)
「日本のきょうりゅう地図」

(学校名)
つくば市立学園の森義務教育学校

(学年 氏名)
4年 吉田 健志郎



(作品名)
「茨城&千葉 ナマズ伝説 MAP」

(学校名)
水戸市立 常澄中学校

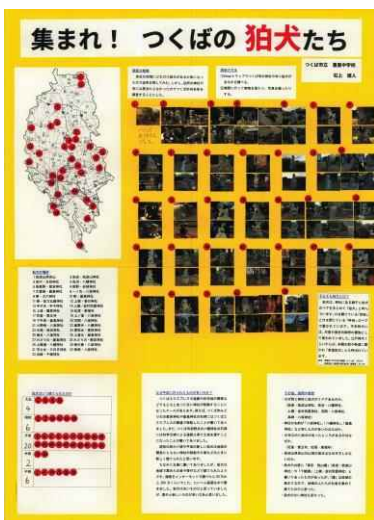
(学年 氏名)
1年 渡邊 悠生



(作品名)
「国登録 水戸の有形文化財」

(学校名)
水戸市立千波中学校

(学年 氏名)
1年 三谷 彩菜



(作品名)
「集まれ! つくばの狛犬たち」

(学校名)
つくば市立豊里中学校

(学年 氏名)
7年 石上 徳人



(作品名)
「茨城の今と昔」

(学校名)
茨城県立日立第一高等学校附属中学校

(学年 氏名)
1年 小泉 ころろ 矢野 楽



(作品名)
「茨城県の鉄道利用状況と人口の関係」

(学校名)
茨城県立日立第一高等学校附属中学校

(学年 氏名)
1年 椎名 郁心



(作品名)
「町からし市へ！発展し続ける阿見！！」

(学校名)
私立茗溪学園中学校

(学年 氏名)
2年 齊藤 穂万里



(作品名)
「霞ヶ浦と土浦～色川三郎兵衛の活躍～」

(学校名)
私立茗溪学園中学校

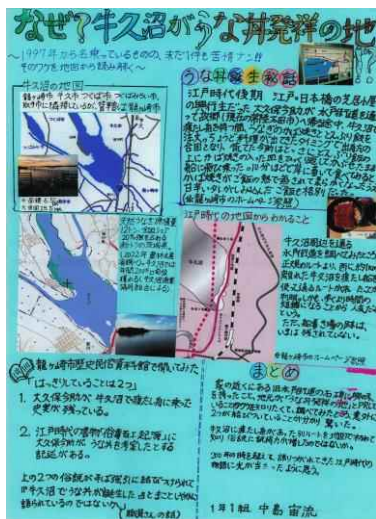
(学年 氏名)
2年 原 彩乃



(作品名)
「茨城の高齢化と医療」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)
1年 榎本 美空



(作品名)
「なぜ？牛久沼がうな井発祥の地！？」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)
1年 中島 宙道



(作品名)
「茨城県の人口と交通網」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)
1年 笠間 リヅ



(作品名)
「手賀沼の水質と生態系の変化」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

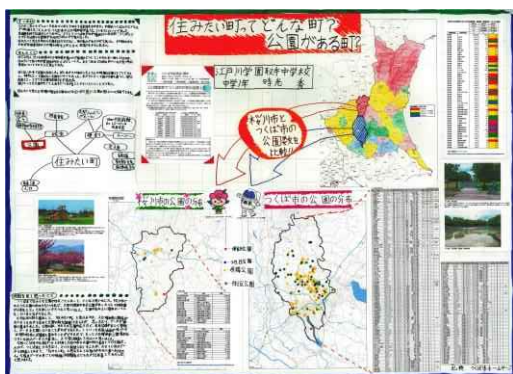
(学年 氏名)
1年 矢島 奏



(作品名)
「流山市と柏市の市境」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

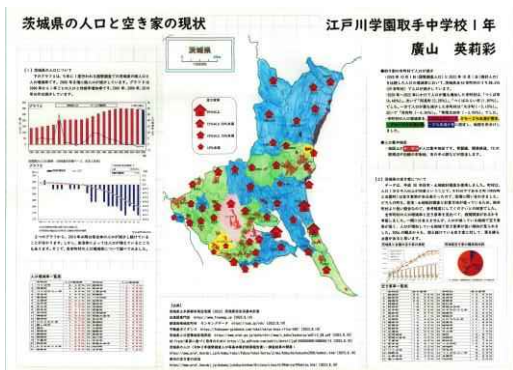
(学年 氏名)
1年 小野田 有希



(作品名)
「住みたい町ってどんな町？公園がある町？」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)
1年 時光 秀



(作品名)
「茨城県の人口と空き家の現状」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)
1年 廣山 英莉彩



(作品名)
「手賀沼の鳥」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)
1年 鈴木 詠大



(作品名)
「小貝川マップ」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

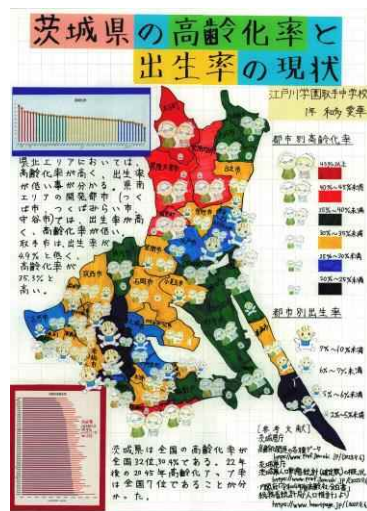
(学年 氏名)
1年 瀬尾 さくら



(作品名)
「もしもの時大丈夫？茨計の人口と病院の数」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)
1年 水挽 寧予



(作品名)
「茨城県の高齢化率と出生率の現状」

(学校名)
私立江戸川学園取手中学校

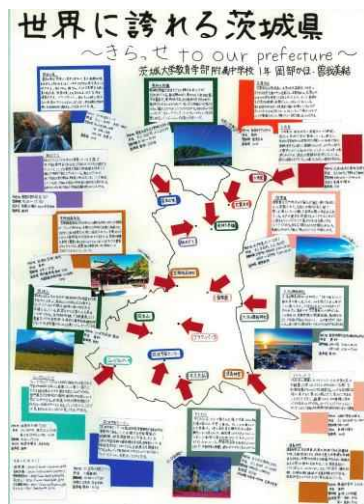
(学年 氏名)
1年 知多 愛華



(作品名)
「研究学園駅周辺の交通マップ」

(「学校名」)
私立江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)
1年 村上 悠晴



(作品名)
「正解に誇れる茨城県～さらっせ to our prefecture～」

(学校名)
茨城大学教育学部附属中学校

(学年 氏名)
1年 岡部 かほ 蘇我 美結



(作品名)
「茨城県内におけるプロも使う球場と野球に力を入れる市町村をデータから表わす！」

(学校名)
茨城県立古河中等教育学校

(学年 氏名)
1年 高子 遼 池田 暖



(作品名)
「詳しく見ると面白い！茨城県ご当地キャラクター」

(学校名)
茨城県立古河中等教育学校

(学年)
1年 片山 直音



(作品名)
「すごいぞ茨城の橋」

(学校名)
茨城県立古河中等教育学校

(学年)
1年 穂山 陽斗



(作品名)
「結城市神社77社全公開 map」

(学校名)
茨城県立古河中等教育学校

(学年)
1年 森田 美紅